

定期テストへの取り組み方

5月には各中学で最初の定期テストがありました。中1にとってはまさに初めての定期テストであり、塾でやっている英数以外の3科目にどのように取り組むかが課題であったように思います。前日の最終チェックで社会などの過去問題をやってみると、よく勉強している人もいましたが、必ず出題されるような基本事項さえも覚えていない人も多くいて、年々定期テストに対する取り組み方が甘くなっているように感じました。

中3にはもちろん、「1学期の定期テストは受験校を決めるテスト」と繰り返し言っていましたので、相当気合いを入れて臨んだようです。中2も学年が変わり、中1の結果がリセットされての再スタートとなります。学年が変わるときに成績が大きく変動するケースが多いため、この中間(第1回)テストはどの学年にとっても重要なテストといえます。

対策期間中は機会があるごとに「計画的に勉強しなさい」と言うのですが、何度言ってもそれが苦手な生徒がいます。理解力・才能が劣っているのではありません。塾での授業やブレントレーニングのパズルのときには、人一倍頭の回転が速いくらいです。ただ単に「きちんとした」勉強ができないだけなのです。

その意味では、「テストの結果だけでは、その子の力をすべて評価はできない」といえるかもしれません。私自身その内容には同意ができます。ただ、大切なのはその先のことで、それをそのまま「個性を認めてほしい」と甘ったれてしまうのか、「自分自身に厳しくなろう」と反省するか、どの道を歩もうとするかなのです。

計画的に取り組むこともひとつの能力かもしれませんが、努力によって少しずつ、よりましな取り組み方ができるようになっていくとは思いますが、「今回失敗した」と思っているひとは、次回の期末(第2回)テストにその反省をいかしてください。

'01年度1学期中間テスト塾生平均点(高森台中)

塾生平均	英語	数学	理科	社会	国語	合計
中 3	94.4	95.1	88.4	84.3	89.8	452
中 2	95.0	92.7	81.4	70.3	77.2	417
中 1	95.8	91.4	86.4	82.4	76.3	432